

別紙

珠算検定 答案記入上の注意 必ずご一読ください

- ① 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。(数字が判読しにくいものは無効となります。)
- ② 3級以上は、答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。「,」と「.」の区別が不明確なものは無効となります。)
- ③ 無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
- ④ 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。
そろばん面 答
0.4595 …………… 0.460 0.46
5.2004 …………… 5.200 5.2(5.20とは書かないこと。)
- ⑤ 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。
そろばん面
0.45 …………… 0.45 .45(0.450又は.450とは書かないこと。)
5.2 …………… 5.2(5.20又は5.200とは書かないこと。)
- ⑥ 名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528— 9,528
(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしないこと。)
〔注〕 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- ⑦ 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ⑧ 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。**消しゴムは使用禁止**です。
- ⑨ 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ⑩ 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ 小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- ⑪ コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

その他の注意

- ① 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ② 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- ③ アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- ④ 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に「再交付」を受けて受験すること。
- ⑤ 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。